



コロナ禍でも 売り上げを伸ばし、 今年はパリでの販売も実現 なでしこ力

Power of Nadeshiko

「手作り品の雑貨店」は日本各所にあるが、長年継続している店舗は数少ない。「ぶりゅむ工房」は、開業1年目でコロナ禍に襲われたものの、代表の春日あやのさんが冷静に売れ筋の商品を見極め、逆に大きく売り上げを伸ばした。この7月にはフランス・パリで開催された「Japan Expo Paris」で作品を販売、パリジェンヌに好評だった。

来店するのは全世代の女性

「ぶりゅむ工房」は、2019年に開業した名古屋市名東区の住宅街にあるハンドメイド雑貨の店。リクエストの多いワークショップを充実するため2023年に近隣に移転した。販売されているのは、ピアス、ネックレスなどのアクセサリ類、インテリア雑貨、器・食器やオリジナルの手作り作品、レディースアパレルなど。アクセサリ類は春日さんの作品で、契約した12人の作家のオリジナルハンドメイド作品も委託販売で並ぶ。季節ごとに商品を選び、12月にはクリスマス商品でいっぱいになり、また違った雰囲気の店になる。他店には無い商品ラインナップで種類も数も多彩。セレクトショップに入った感覚で、幼児から年配女性までがワクワクするものが並んでいる。

コロナ禍で売り上げを伸ばした理由

開業1年目にコロナ禍となり、女性の外出の機会が減り、アクセサリ類や外出着など、着飾るものが大きく売り上げを落とした。小川さんは「今、提供できるものを」と考え、フルオーダーマスクの販売を開始。既製品のマスクが合わない人は多いため、それぞれの顔の形状や、肌質に合ったマスクを、オーダーを受けて型紙から制作し製造していた。おしゃ

れで、装着時のストレスが無い上質なフルオーダーマスクは評判を呼び、ピーク時には開店前に顧客の行列ができるほどになった。これをきっかけに、周辺エリアでの店の知名度は爆発的に上がった。

作品への声を作家さんにフィードバック

6年間も順調に売り上げを伸ばしてきた理由のひとつが、春日さんの作家さん選びだ。12人の作家さんの作品が70点を上限に店内で販売中だが、実力があるだけでなく、春日さんや顧客からの要望を、自分の作品にフィードバックできる作家さんのみと契約しているため、コロナ対策商品の販売をいち早く始めることができたのだ。顧客の要望に応じて制作できる実力ある作家さんのハン



店舗2階ではワークショップも開催される



ぶりゅむ工房店内